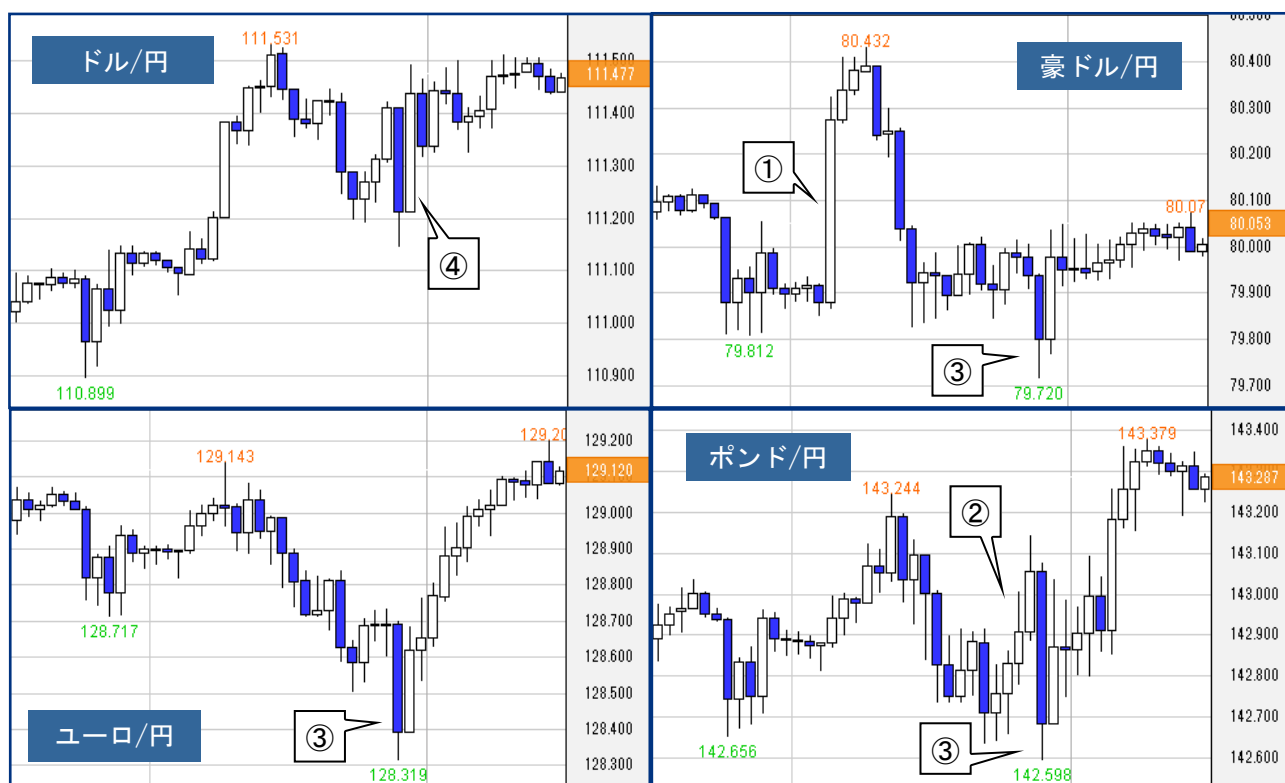


9月5日(水曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

「ドル最強」の流れが強まるか

4日(火)の為替相場



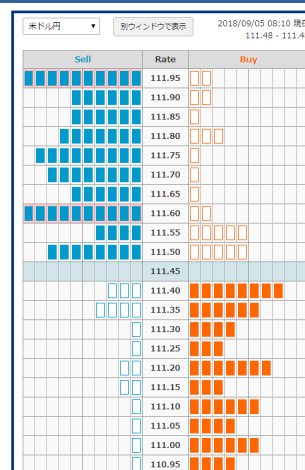
期間 4日(火)午前6時10分~5日(水)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所:外為どっとコム

- ① 豪中銀(RBA)は予想通りに政策金利の据置き(1.50%)を発表。声明にも大きな変更点はなかったが、「18年前半の豪経済はトレンドを上回るペースで成長したと推定」など、比較的明るいトーンの声明だった事から、ショートカバーの動きも相まって豪ドル買いが強まった。
- ② カーニー英中銀(BOE)総裁は、議会証言で「英国の欧州連合(EU)離脱=Brexitで合意が成立すれば、英経済にとっては上振れを意味する」などと発言。また「Brexitプロセスを支えるために自分にできる事はなんでもするとの意思を政府に伝えた」として、2019年6月までの任期を延長して総裁に留任する可能性を示唆した。これを受けて一時ポンド買いが優勢となった。
- ③ トルコリラやメキシコペソ、南アフリカランドなどの新興国通貨安が進む中、欧州株が下落。米国株も安寄りするとリスク回避ムードが広がり、ドルと円が強含んだためクロス円が下落した。
- ④ 米8月ISM製造業景況指数は61.3と市場の低下予想に反して(前回58.1、予想57.6)、2004年5月以来、約14年ぶりの高水準を記録。内訳の雇用指数も前回の56.5から58.5に上昇した。

4日(火)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22696.9 ▼10.48	6293.071 ▼17.804	2750.580 △29.846	7457.86 ▼46.74	12210.21 ▼136.20
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25952.48 ▼12.34	0.1230% △0.0050	2.524% △0.005	1.429% △0.025	0.357% △0.024
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.6533% △0.0264	2.8985% △0.0382	69.87 △0.07	1199.10 ▼7.60	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	111.100-112.100	128.500-129.700	79.500-80.500	142.500-143.900

【ドル/円】

昨日のドル/円は111円台を中心として堅調に推移。一時111.50円台まで上昇する場面もあった。なお、昨日発表された米8月ISM製造業景況指数は約14年ぶりの高水準を記録。アトランタ連銀の予測モデルによる7-9月期GDPは前期比年率+4.7%と高い伸びを示す。米長期金利も上昇しており、米国のファンダメンタルズに焦点を当てれば「ドル最強」の流れが一段と強まってもおかしくない地合いであろう。米国対カナダ、米国対中国など、貿易問題を巡る懸念がくすぶっているものの、これらもどちらかと言えばドル高要因だ。本日のドル/円は、日足一目均衡表の雲(上限111.516円前後)を抜けて112円台乗せにトライする可能性もある。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
9/5(水)	10:30	◎	(豪) 4-6月期GDP(前期比)	+1.0%	+0.7%
	10:30	◎	(豪) 4-6月期GDP(前年比)	+3.1%	+2.8%
	10:45		(中国) 8月財新サービス業PMI	52.8	52.6
	16:55		(独) 8月サービス業PMI(改定値)	55.2	55.2
	17:00		(ユーロ圏) 8月サービス業PMI(改定値)	54.4	54.4
	17:30		(ユーロ圏) プラートECB専務理事、講演	—	—
	18:00		(ユーロ圏) 7月小売売上高(前月比)	+0.3%	-0.1%
	21:30		(米) 7月貿易収支	-463億ドル	-502億ドル
	22:20		(米) ブラード・セントルイス連銀、講演	—	—
	29:00		(米) カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁、講演	—	—
	未定	○	NAFTA再交渉の米加2国間協議	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。